

# 日本ゼオン 総合開発センター

## 総合開発センターについて

### 【主な機能】

1959年に設立。日本ゼオンの研究開発を担っています。川崎を中心に、高岡、水島、徳山の各工場にも研究所を設置しています。研究所と工場が隣接することで、研究から生産まで総合的に対応できます。



研究所正面

## 事業所の方針（センター長より）

「CSR 基本方針」に則り、研究所員全員が CSR を自覚した研究を行っています。また、研究活動全般を通じて関連法令を遵守し、事故のない安全で活気に満ちた研究所の実現を目指します。そのために、2020年度は事業所の環境安全方針として、「あいさつと3Sは全ての基本。明るく元気に、気持ちよく！」「危険に気づき、自分の身も一緒に働く仲間の身も守っていこう。」「相互理解を深め、全員で心も身体も健康になろう。」を掲げ、全員で取り組みます。



研究開発本部長  
総合開発センター長  
豊嶋 哲也

## 安全への取り組み

### 【方針】

「安全は存在しない。常に存在するのは危険である。」という教えのもと、安全な職場環境と無事故無災害の実現を目指します。

### 【具体的な取り組み】

- ・所員全員に対する安全衛生管理の意識付け
- ・守れるルールづくり
- ・新規実験実施にあたっての社内審査会体制の確立
- ・転倒災害の設備的措置による安全確保対策
- ・事故事例教育

## 環境負荷削減の取り組み

### 【方針】

環境負荷低減活動の推進と産業廃棄物ゼロエミッションの維持、CO<sub>2</sub>排出量削減に取り組みます。

### 【具体的な取り組み】

- ・排ガス除去装置による大気汚染物質の除去
- ・化学物質含有液体の適切な廃棄処理
- ・分別廃棄の徹底による直接埋立処分量ゼロの継続

## 社員とともに

### 【方針】

やる気がある者を積極的に支援する

### 【具体的な取り組み】

- ・外部語学、専門技術研修への派遣
- ・リーダー育成教育
- ・階層別教育
- ・共通職能技能教育
- ・職種別専門教育
- ・指導員による新入社員へのマンツーマン教育



語学留学



談話室企画

## 地域との共生

### 【具体的な取り組み】

#### 1. ボランティア活動を通じた地域への貢献

- ・総合開発センター周辺の清掃ボランティア「殿町夜光クリーン大作戦」への参加（年2回）

#### 2. 地域との交流

- ・川崎工場と協力の、「事業報告および工場見学会」開催

#### 3. 総合開発センター見学およびインターンシップの受け入れ

学生や若手研究者に化学企業の理解を深めてもらうために、見学およびインターンシップを受け入れています。

- ・見学（半日）：「会社」を知る
- ・短期インターンシップ（1週間程度）：「会社および仕事」を知る
- ・中長期インターンシップ（2～3ヶ月）：企業の研究開発活動を体験するとともに、知と知の融合によるイノベーションを起こす。



清掃ボランティア



見学会